

しんきゅうしき  
進級式



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ルカ 23・32～38  
十字架<sup>じゅうじか</sup>上<sup>じょう</sup>での祈<sup>いの</sup>り  
父<sup>ちち</sup>よ、彼<sup>かれ</sup>らをおゆるしください。  
彼<sup>かれ</sup>らは何<sup>なに</sup>をしているのか、わから  
ずにいるのです。 ルカ 23・34

目標

キリストの十字架<sup>じゅうじか</sup>は自分<sup>じぶん</sup>のため  
と知り、罪<sup>つみ</sup>の赦<sup>ゆる</sup>しを受け取る。

4月7日(日)

聖書  
聖句

ルカ 23・32～38  
父<sup>ちち</sup>よ、彼<sup>かれ</sup>らをおゆるしください。彼<sup>かれ</sup>ら  
は何<sup>なに</sup>をしているのか、わからずにいる  
のです。 34節

わたしにむかって、さんざん悪口<sup>わるぐち</sup>言<sup>い</sup>ったり、  
暴力<sup>ぼうりよく</sup>をふるってきたりする人<sup>ひと</sup>をどう思<sup>おも</sup>うで  
しょう? 「ゆるせない!!」かな? ところが、  
この苦<sup>くる</sup>しい十字架<sup>じゅうじか</sup>の上<sup>うへ</sup>で、イエス様<sup>さま</sup>は、自分<sup>じぶん</sup>に  
つばきしたり、あざけったり、ムチ打<sup>うち</sup>ったり、  
ののしったり、ついに殺<sup>ころ</sup>そうとしている「彼<sup>かれ</sup>ら」  
のために、父<sup>ちち</sup>のゆるしをお祈<sup>いの</sup>りしたのでし  
た!! 「何<sup>なに</sup>をしているのか、わからないでいる  
のです」から、と! 完全<sup>かんぜん</sup>な無条件<sup>むじょうけん</sup>のゆるしと愛<sup>あい</sup>  
の祈<sup>いの</sup>りでした。

祈<sup>いの</sup>り 天<sup>てん</sup>のお父<sup>とうさま</sup>様、イエス様<sup>さま</sup>の心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>は信<sup>しん</sup>じら  
れないほどの愛<sup>あい</sup>が、「彼<sup>かれ</sup>ら」のために燃<sup>も</sup>え  
ていたのだと知り心<sup>こころ</sup>が熱<sup>あつ</sup>くなります。

4月8日(月)

聖書  
聖句

ルカ 23・32～33  
人<sup>ひと</sup>々はそこ<sup>そこ</sup>でイエス<sup>イエス</sup>を十字架<sup>じゅうじか</sup>につ  
け、犯罪<sup>はんざい</sup>人<sup>にん</sup>たちも、ひとり<sup>ひとり</sup>は右<sup>みぎ</sup>に、  
ひとり<sup>ひとり</sup>は左<sup>ひだり</sup>に、十字架<sup>じゅうじか</sup>につけた。  
33節

ゴルゴダ(されこうべ)と呼<sup>よ</sup>ばれていた所<sup>ところ</sup>に  
着<sup>つ</sup>きました。それまでの道<sup>みち</sup>のりを、イエス様<sup>さま</sup>は  
必死<sup>ひつし</sup>の思<sup>おも</sup>いでご自分<sup>じぶん</sup>がつけられる十字架<sup>じゅうじか</sup>を  
負<sup>お</sup>って歩<sup>ある</sup>いてこられました。そこには三本<sup>さんぽん</sup>の  
十字架<sup>じゅうじか</sup>が立つことになりました。真<sup>ま</sup>ん中<sup>なか</sup>には  
その三<sup>さん</sup>人<sup>にん</sup>の中<sup>なか</sup>でも極<sup>ごく</sup>悪<sup>あく</sup>にん、一番<sup>いちばん</sup>罪<sup>つみ</sup>深<sup>ふか</sup>い人<sup>ひと</sup>がつけ  
られます。なんとそれはイエス様<sup>さま</sup>だったので  
す! 右<sup>みぎ</sup>と左<sup>ひだり</sup>には、本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>に十字架<sup>じゅうじか</sup>刑<sup>けい</sup>になっ  
てあたり前<sup>あたりまえ</sup>の「犯罪<sup>はんざい</sup>人<sup>にん</sup>たち」がつけられました。  
本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>に痛<sup>いた</sup>みの絶<sup>ぜつ</sup>頂<sup>ちょう</sup>だったでしょう。

祈<sup>いの</sup>り 天<sup>てん</sup>のお父<sup>とうさま</sup>様、三<sup>さん</sup>人<sup>にん</sup>の中<sup>なか</sup>でも一<sup>いち</sup>番<sup>ばん</sup>の悪<sup>あく</sup>人<sup>にん</sup>とし  
て、イエス様<sup>さま</sup>が真<sup>ま</sup>ん中<sup>なか</sup>の十字架<sup>じゅうじか</sup>につけら  
れた事<sup>こと</sup>を知<sup>し</sup>り驚<sup>おどろ</sup>きました。

4月9日(火)

聖書  
聖句

ルカ 23・34～38  
あなた<sup>あなた</sup>がユダヤ人<sup>じん</sup>の王<sup>おう</sup>なら、自分<sup>じぶん</sup>を  
救<sup>すく</sup>いなさい。 37節

十字架<sup>じゅうじか</sup>のふもとにはいろんな人<sup>ひと</sup>がいまし  
た。イエス様<sup>さま</sup>の着<sup>き</sup>物<sup>もの</sup>をくじびきで分<sup>わ</sup>ける人<sup>ひと</sup>々、  
立<sup>た</sup>って見<sup>み</sup>ている人<sup>ひと</sup>々、あざ笑<sup>わら</sup>っている役<sup>やく</sup>人<sup>にん</sup>た  
ち、ののしる兵卒<sup>へいそつ</sup>たち…と。「これまで彼<sup>かれ</sup>は多  
くの他<sup>た</sup>人<sup>にん</sup>を救<sup>すく</sup>ってきた。もし本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>に彼<sup>かれ</sup>が神<sup>かみ</sup>の  
キリスト、選<sup>えら</sup>ばれた者<sup>もの</sup>だったら、自分<sup>じぶん</sup>自<sup>じ</sup>身<sup>しん</sup>を救<sup>すく</sup>  
うがよい」、「あなた<sup>あなた</sup>がユダヤ人<sup>じん</sup>の王<sup>おう</sup>なら、自  
分<sup>じぶん</sup>を救<sup>すく</sup>え」と、あざけりとののしる声<sup>こえ</sup>です。  
十字架<sup>じゅうじか</sup>から降<sup>お</sup>りることが救<sup>すく</sup>いだと勘<sup>かん</sup>ちがい  
していたのです。

祈<sup>いの</sup>り 天<sup>てん</sup>のお父<sup>とうさま</sup>様、人<sup>にん</sup>間<sup>げん</sup>の知<sup>ち</sup>恵<sup>え</sup>は、なんと浅<sup>あさ</sup>は  
かなものでしょう。そして、その心<sup>こころ</sup>は冷<sup>つめ</sup>  
たく罪<sup>つみ</sup>深<sup>ふか</sup>いものです。ゆるしが必要<sup>ひつよう</sup>です。

## 4月10日（水）



ルカ 23・34

父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。 34節

「彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」とのイエス様の祈りはズバリ命中！って感じです。この「彼ら」とは、その時十字架のふもとにいた人々だけのことを言っているのだと思いますか？ いいえ、そうではありません。実は、あなたのこともわたしのことも、そう、全人類ひとりひとりのことをさしているのです。わたしたちはみんなわからないで罪ばかり犯しています。そのわたしもゆるしていただけるのです。

**いのり** 天のお父様、イエス様のこのお祈りと流してくださった命の血によってのみ、罪ゆるされる事を感謝いたします。

## 4月11日（木）



使徒7・51～53

あなたがたは、いつも聖霊に逆らっている。それは、あなたがたの先祖たちと同じである。 51節

このイエス様を信じて救われる時、わたしたちもまた、イエス様のように祈ることができるようになれます。ここにはステパノという、信仰と聖霊とに満ちた人が登場します。あまりにも知恵があり、御霊で満ちた人だったのでだれも議論に勝てません。人々はシャクにさわって迫害を始めました。天使のような顔をした若いステパノは、アブラハムから始まるイスラエルの歴史を話し、「あなたがたも不信仰な先祖たちと一緒に！」と語りました。

**いのり** 天のお父様、あなたの聖霊に満たされる時、人々の罪がよくわかり、罪だ！と言える勇氣も出ることを知ります。

## 4月12日（金）



使徒7・54～58

ああ、天が開けて、人の子が神の右に立っておいでになるのが見える。56節

ステパノは議会で自分を訴えた人々に、「正しいかたを裏切る者、また殺す者となった」（52）と、「正しいイエス様を、あなたがたは殺してしまった」と、迫ったのでした！これを聞いた人々は怒り狂って、ステパノに向かって歯ぎしりしました。その中でステパノが天を見つめていると、天が開けてイエス様が神の右に立っておられるのが見えたのです。それを聞いて人々は、叫びながら彼を町の外に引き張り出して石で打ち殺しました。

**いのり** 天のお父様、迫害されているステパノのために、イエス様は神の右に立って彼をさえたことがわかりました。

## 4月13日（土）



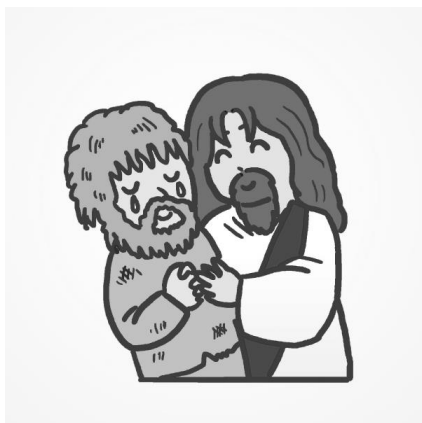
使徒7・59～60

主よ、どうぞ、この罪を彼らに負わせないで下さい。 60節

小さい石が、一つでもカツンって頭にでも当たったらイタイです。もし血でも吹き出したらゾッとします。この時、ステパノめがけて、小さい石ではありません。持てるだけの大きな石も飛んできたのでした。それで人が死ぬほどの石打ちです！その中で、ステパノは祈りました。祈りつづけたのです。「主よ、どうぞ、この罪を彼らに負わせないで下さい」と！この祈りは、イエス様の十字架の祈りと全く同じものでした。

**いのり** 天のお父様、イエス様の救いは素晴らしいです。わたしも罪ゆるされて、このゆるしの祈りのできる子どもになりたいです。

しゅろ ひ  
棕櫚の日



せいしよ  
聖書  
てーま  
暗唱聖句

ルカ 23・39～43  
十字架による救い  
あなたはきょう、わたしと一緒に  
にパラダイスにいるであろう。  
ルカ 23・43

ちく びょう  
目標

悔い改めと信仰を持って、  
十字架による救いを受け取る。

4月14日(日)

せいしよ  
聖書  
せいいく  
聖句

ルカ 23・39～43  
あなたはきょう、わたしと一緒にパ  
ラダイスにいるであろう。 43節

きょうは「パーム・サンデー」、棕櫚の主日で  
す。人々がエルサレムに入城される、ろばの子  
に乗ったイエス様を、「ホサナ！ ホサナ！（わ  
たしたちを救ってください、の意味）」と叫びな  
がら、棕櫚の枝をふってお迎えした記念日です。  
そして、その週の金曜日に、その叫びは「十字  
架につけよ！」に変わりました。全人類は、三本  
の十字架の真ん中の主の十字架でハッキリと  
右と左に分かれます。救いか？ 滅びか？ あな  
たはどちらに？

いの  
祈り  
天のお父様、イエス様の救いの十字架を  
感謝いたします。わたしも罪を悔い改め、  
イエス様を救い主と信じます。

4月15日(月)

せいしよ  
聖書  
せいいく  
聖句

ルカ 23・39  
あなたはキリストではないか。それ  
なら、自分を救い、またわれわれも  
救ってみよ。 39節

わたしたち人間は目の前のことしか見えな  
いし、わからない者たちです。イエス様の隣の  
十字架につけられていた犯罪人のひとりの人  
が、「キリストなんだろう？！ それだったら、  
自分を救い、われわれも救ってみよ？！」とイ  
エス様にズーッと悪口を言いつづけました。そ  
のひとりの人にとっての「救い」とはその場限りの、十  
字架から降りるということでした。本当の救い  
は、大きな深い愛のご計画で、それは主の十字  
架の身代りの死なのです。

いの  
祈り  
天のお父様、イエス様が周りのあざけりの  
声になど気にも止めず、救いの十字架に  
とどまってくださり感謝です。

4月16日(火)

せいしよ  
聖書  
せいいく  
聖句

ルカ 23・40～41  
お互は自分のやった事のむくいを  
受けているのだから、こうなったのは  
当然だ。 41節

「お父さんにお尻ペンペンされても仕方ない  
よな」って、覚悟したことってあるでしょう？  
そういうのを「認罪」といって、とても大事な  
ことなのです。救われる一歩手前ですよ！ 片方  
の犯罪人の心に変化があらわれてきました！  
悪口を言いつづける反対側の犯罪人に話しかけ  
ます。たしなめたのです。それはちがうだろうっ  
て。われわれがこうなるのは当たり前だ、でも  
「この方は何も悪いことはしなかったのだ」と。

いの  
祈り  
天のお父様、ひとりの犯罪人はイエス様  
のお祈りを聞いてからでしょうか？ 心  
の向きが変わったのがわかります。

## 4月17日（水）



ルカ 23・42

イエスよ、あなたが御国の權威をもっておいでになる時には、わたしを思い出してください。 42節

イエス様の愛とゆるしに満ちたとりなしのお祈りを聞いて、もうひとりの犯罪人の心の目が開いたのでした！「イエスと言われるこの方は、何の罪も犯さないお方だったが、われわれの身代わりに十字架に死んでくださったのだ。この方こそメシヤだ。そうだ、やがて、天の御国が打ち建てられる時が必ず来る。御国の權威をもって、再び来られる時、『わたしを思い出してください、Remember me.』と祈ろう」と。

**いの祈り** 天のお父様、わたしもきょう心よりへりくだって、Remember me. わたしを思い出してください、とお祈りいたします。

## 4月18日（木）



ルカ 23・43

よく言っておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう。 43節

イエス様の超スピードアンサー！！やがて御国の權威をもっておいでになる時を待つことはありません。「きょう」とイエス様は言われます！そうです、信じた今！です。あすでも、あさってでもありません。「きょう」です。「よく言っておくが」です。「あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるよ！」と言ってくださいます。イエス様と共にいる所は、どこもパラダイス！犯罪人は感激のきわみだったでしょう。

**いの祈り** 天のお父様、信じるなら、その場で救われて、天の御国に住む者とされる、これこそグッド・ニュースです！

## 4月19日（金）



ルカ 23・44~46

父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます。 46節

イエス様の救いは、「きょう、今」であると共に、「永遠」です！このみ言葉は、十字架の上で言われた七つの言葉の一番終り、第七言です。十字架の上で救いのみわざを完成されたのち、イエス様は、ご自分のすべてを父なる神様にお任せしながら息を引きとられました。父なる神様のみ手のわざにいっさいをおゆだねされて。やがて、復活されたのでしたね！信じるわたしたちもぜーんぶ安心しておゆだねできるのです。

**いの祈り** 天のお父様、わたしの体も心も霊も、みんな、イエス様のようにあなたにおゆだねして永遠の救いに入れられ感謝です！

## 4月20日（土）



ルカ 23・47~49

ほんとうに、この人は正しい人であった。 47節

ローマの兵隊の百卒長が、「まことに、この人は神の子であった」と言ったと、マタイ 27・54に記されています。イエス様が苦しい十字架の上で七つのお言葉を言われ、最後には、あまりにもおだやかにご自分の霊を父なる神様におゆだねして、息を引きとられたのを見たからでした。マルコ 15・39にも「神の子であった」と記されています。わたしたちも罪を悔い改めて、神の子イエス様を救い主と信じましょう。

**いの祈り** 天のお父様、罪深いわたしのために、救い主、神のひとり子イエス様をお与えくださって心からありがとうございます。

## イースター



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ルカ 24・1～12

よみがえられたキリスト

あなたがたは、なぜ生きた方を  
死人の中にたずねているのか。

ルカ 24・5

目標

復活し生きておられるキリスト  
を知り、信じ、お従いする。

## 4月21日（日）

聖書  
聖句

ルカ 24・1

週の初めの日、夜明け前に、女たちは用意しておいた香料を携えて、墓に行った。

今日はイースターです。わたしたちの罪のみに代りに十字架で死なれたイエス様が、よみがえられた記念日！ 復活された日、とも言います。

その日、まだ夜明け前。イエス様の女弟子たちが、イエス様が入れられたお墓にむかいました。「イエス様が死んだ…」悲しみながら、イエス様の身体に香料をぬってあげようとしていたのです。このあと、この女性たちは歴史的なできごとを目撃します！ 女性たちになったつもりで読んでいきましょう。あなたも、素晴らしいできごとの目撃者になる！

いのちの祈り

天のお父様、わたしも、あなたが行われた素晴らしいできごとの目撃者となれますように。

## 4月22日（月）

聖書  
聖句

ルカ 24・2～4

そのため途方にくれていると、見よ、輝いた衣を着たふたりの者が、彼らに現れた。

4節

お墓についた女性たち。見ると、お墓をふさぐ大きな石がころがしてありました。中に入ってみると、なんと、イエス様の身体がなくなっていたのです！ ただでさえかなしいのに、身体がないなんて。女性たちはどうしたらいいかわからず、目の前が真っ暗。悲しみにおしつぶされそうになりました。

その時です。光りがやく二人のみ使いが現れました！ かなしみで真っくらな心の中に、希望の光をてらしてくださるのが神様。かなしみをそのままで終わらせないのが神様です。

いのちの祈り

天のお父様、悲しみやつらいときこそ、あなたが希望をあたえてくださることを感謝します！

## 4月23日（火）

聖書  
聖句

ルカ 24・5～6

あなたがたは、なぜ生きた方を死人の中にたずねているのか。

5節

とつぜんかがやくみ使いたちがあらわれて、女性たちはびっくり！ おそろしくて、顔を地面にふせました。み使いが言いました、「あなたがたは、なぜ生きた方を死人の中にたずねているのか。そのかたは、ここにはおられない。よみがえられたのだ」。いくらお墓をさがしても、イエス様の身体はない。だって、よみがえられたのだから！ というのです！

死んだイエス様がよみがえられた?! 絶対にありえないことがおこったのです。死人をよみがえらせるという、人間ではぜったいできないことができる、それが神様なのです！

いのちの祈り

天のお父様、あなたがイエス様をよみがえらせた力があるお方だと知りました。あなたのすばらしさをほめたたえます！

## 4月24日（水）



ルカ 24・5～7

あなたがたにお話しになったことを  
思い出しなさい。 6節

実はイエス様は、ご自分が十字架にかかれ、三日目によみがえることを前もって話されていたのです。何度も。でも、女弟子たちはそんなことはすっかり忘れていました。それに、まさか本当によみがえられるなんて、信じていなかったのです。み使いの話聞いたとき、女性たちはイエス様の言葉を思い出しました。そして心から信じたのです。

みことばを思い出す、ということは本当に大切なことです。みことばを暗唱するのは、あなたがみことばを思い出すため。聖書のみことばは、本当だ！とあなたが信じるためなのです。

いの

祈り 天のお父様、どんな時もみことばを思い出せるように、これからしっかり暗唱していきます！

## 4月25日（木）



ルカ 24・8～11

墓から帰って、これら一さいのことを、十一弟子や、その他みんなの人に報告した。 9節

イエス様はよみがえられた！女性たちは、ほかの弟子たちに知らせるために、お墓からすつとんで帰っていきました。お墓がからっぽだったこと、み使いたちが現れたこと、イエス様の言葉を思い出したこと。見たこと聞いたこと、ぜ～んぶ伝えました！

神様がしてくださったすばらしいことを、人々に伝えることは、とても大切です。教会では、そのことを「証しする」と言いますね。難しいことは考えなくていいですよ。神様がしてくださったこと、そのままを話せばよいのです。

いの

祈り 天のお父様、わたしも、あなたがしてくださったことを、人々に伝えたいです。わたしに勇気と力をあたえてください。

## 4月26日（金）



ルカ 24・11～12

ところが、使徒たちには、それが愚かな話のように思われて、それを信じなかった。 11節

イエス様復活のビッグニュース！「ところが」。他の弟子たちは、女性たちの言葉を信じなかったのです。ペテロはお墓を見に行きました。たしかにイエス様の身体がない…。それでも、「なんで???」と思うだけで、まだ信じられない。

初めは全員、信じられなかったんです。死んだ方がよみがえるなんて、ふつうはありえないからです。イエス様の復活は、まちがいなく地球上でいちばん大きなできごと。復活を信じるのは、実はとてもむずかしい。でも、信じるのができたら、何よりもすばらしいことです。

いの

祈り 天のお父様、地球上でいちばんのできごとであるイエス様の復活を、心から信じます。

## 4月27日（土）



ルカ 24・1～12

そのかたは、ここにはおられない。よみがえられたのだ。 6節

よみがえられたイエス様は、今も生きておられます。これからも永遠に生きておられます。このことを信じる人に、イエス様と同じ永遠の命を与えてくださいます。死んだらおわり、の悲しみをイエス様は打ち破られたのです！こんなすごいこと、ほかにありません。

「あなたは何を信じてるの？」と、もし聞かれたら、「イエス様がわたしの罪のみがわりに死なれたこと。そしてよみがえられたことを信じているよ！」とハッキリ伝える人になってほしいのです。その力は、生きてあなたと共におられるイエス様が、かならずくださいます。

いの

祈り 天のお父様、イエス様と同じ永遠の命をくださることを感謝します！イエス様の復活を伝える人にならせてください。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ルカ 24・13～32  
霊の目を開かれて  
彼らの目が開けて、それがイエスであることがわかった。

目標

ルカ 24・31  
霊の目を開いて頂いて、復活のキリストを見る者となる。

## 4月28日（日）

聖書  
聖句

ルカ 23・13～32  
彼らの目が開けて、それがイエスであることがわかった。 31節

目はあいていて、見ているようでも、何も見えていない目のことを「ふし穴」と言います。ただの黒い穴だね。エルサレムからエマオに向かうふたりの弟子たちの目も、イエス様によって開かれるまでは「ふし穴」でした。四つのふし穴！！ 実は彼らの目には、いろんなメガネがかかっていて見えていなかったんだということがわかります。でもある時、ある瞬間、心の目が開けて、イエス様が見えた！ 最高の瞬間でした。

いの祈り 天のお父様、わたしの心の目をふさいで「ふし穴」にするものを取り去ってくださっていつもイエス様が見えますように。

## 4月29日（月）

聖書  
聖句

ルカ 24・13～16  
イエスご自身が近づいてきて、彼らと一緒に歩いて行かれた。 15節

イエス様の十字架の死と復活のニュースは、きっと広く遠く知らされていったにちがいありませんね。エルサレムからエマオの村へ行こうとしていたふたりのお弟子さんたちの話題もそのことでした。ふたりは、「アレコレ、アレコレ、ああでもない、こうでもない、ペチャクチャ」とその事について語り合いつつ歩んでいました。人はいつもそうです！ そこへなんと、イエス様が近づいてきて一緒に歩かれたのです。

いの祈り 天のお父様、人はよく知らないでアレコレ話しますが、実際に復活されたイエス様のご臨在がすべてです。

## 4月30日（火）

聖書  
聖句

ルカ 24・17～18  
彼らは悲しそうな顔をして立ちどまった。 17節

ふたりの弟子たちには、その見知らぬ人がイエス様だとはわからなかったのです。「なんのことを語り合っているのか？」と尋ねられるイエス様のユーモア！！ ふたりの弟子たちは、「悲しそうな顔をして立ち止まった」とあります。そうなのです。彼らの目には『悲しみの色メガネ・サングラス』がしっかりとかかっていたのです。悲しみがあまりに大きく深いと、イエス様のことが見えなくなってしまうのです。

いの祈り 天のお父様、あまり悲しみにすぎたイエス様を見失ってしまうことがないように、しっかりと注意していきます。

## 5月1日（水）

聖書  
聖句

ルカ 24・19～21

わたしたちは、イスラエルを救うのはこの人であろうと、望みをかけていました。 21節

あなたもガッカリ！ することがありますか？ ここでこのふたりの弟子たちもガッカリ！ 失望しちゃった心だったのです。「なんの事を話しているの？」と聞かれ、「都で起ったことを知らないのですか？」と言うと、その人は「それは、どんなことか」と言います。ここにもイエス様のユーモア！ 彼らはナザレのイエスこそイスラエルを救う方だ、と望みをかけていたのに一と、『失望のサングラス』でしただね。

いのちの祈り 天のお父様、本当はイエス様は輝かしく復活され、今、目の前におられるのに… 失望は目を見えなくするとわかりました。

## 5月2日（木）

聖書  
聖句

ルカ 24・22～27

ああ、愚かで心のにぶいため、預言者たちが説いたすべての事を信じられない者たちよ。 25節

ふたりの弟子たちは、数人の女たちが、「イエスは生きておられる」と御使に告げられたこと、他の弟子たちがお墓に入るとイエスが見当たらなかったと知らされたことを話しました。するとイエス様は、ため息まじりに、「ああ、なんという不信仰！」と嘆かれました。そうです、『不信仰というぶ厚いサングラス』がかかっている全く見えなかったのです。イエス様はモーセから始めて、ずっと聖書全体を、ご自身について解き明かされました。

いのちの祈り 天のお父様、聖書をもっともっと読み、お話ををもっともっと聞いて、しっかり信じる心の持ち主にしてください。

## 5月3日（金）

聖書  
聖句

ルカ 24・28～29

わたしたちと一緒に泊まり下さい。もう夕暮になっており、日は傾いています。 29節

エマオの村に近づきました。その旅の人が先へ行こうとされるので、ふたりの弟子たちは、ぜひひと、引き止めてお願いしました。「わたしたちと一緒に泊まり下さい」と。ふたりの弟子たちは、実はとってもよいことをしたのでした。きょうのみ言葉は新聖歌 336「日暮れてやみはせまり」という歌になっています。「主よ、ともに宿りませ」(Abide with me.)で、ロンドン五輪の開会式で演奏された曲です。

いのちの祈り 天のお父様、わたしもいつも「イエス様、わたしとともにいてください」とお祈りして、日々主と共に過ごしたいです。

## 5月4日（土）

聖書  
聖句

ルカ 24・30～3

道々お話しになったとき、また聖書を解き明かしてくださったとき、お互いの心が内に燃えたではないか。 32節

「あーッ、イエスさまー！！」っと、ふたりの目が開けて、イエス様だとわかったのです！ それは、一緒に食卓につかれて、パンを取り、祝福してさき、彼らに渡しておられるうちに、でした。「イエス様だーっ！」ってわかった瞬間に、お姿が見えなくなりました。そのときふたりはしみじみと思い当たるふしがあったことに気付きました。「そうかー聖書を解き明かしてくださった時、心が熱く内に燃えたよね」って。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様について書かれている聖書を読む時、ますます心の目を開いてイエス様が見えるようにしてください。





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ルカ 24・44～53  
キリストの証人として  
あなたがたは、これらの事の  
証人である。 ルカ 24・48

目標

キリストによる恵みを知った者  
として、キリストの証人として  
生きる。

5月5日（日）

聖書  
聖句

ルカ 24・44

わたしが以前あなたがたと一緒にい  
た時分に話して聞かせた言葉は、こう  
であった。 44節

イースターから、よみがえられたイエス様の  
個所を読んでいます。弟子たちは、イエス様は  
本当に、本当に、よみがえられたんだ～！と、  
うれしさでいっぱいでした。そんな弟子たちに  
イエス様は、十字架にかかれる前にお話され  
たことを、もう一度お話されたのです。弟子た  
ちが、みことばをしっかりと理解するためです。

みことばというのは、一度聞いたらいじよ  
うぶ！…ではありません。おなじ聖書個所でも、  
聞けば聞くほど、よ～くわかるようになるし、  
新しく教えられます。神様のことは、ふしぎ。

いの  
祈り

天のお父様、あなたのみことばをもっと  
理解するために、これからもずっと聖書  
から聞きつづけます。

5月6日（月）

聖書  
聖句

ルカ 24・44

モーセの律法と預言書と詩篇とに、  
わたしについて書いてあることは、  
必ずことごとく成就する。 44節

「モーセの律法と預言書と詩篇」というのは、  
イエス様がお生まれになる以前に書かれた  
「旧約聖書」のこと。そういえばイエス様が出  
てこないなあ、と思いますよね。でも、実は旧約  
聖書はイエス様をあらわすために書かれてい  
て、イエス様についてたくさん預言されていま  
す！イエス様も「わたしについて書いている」  
とハッキリ言われました。

旧約聖書もしっかり読んでいきましょうね。  
そうすると、イエス様のお話の意味も、さら  
によくわかるようになるんですよ。

いの  
祈り

天のお父様、旧約聖書もとても大切だとわ  
かりました。しっかり読んで、イエス様の  
ことをもっと理解できますように。

5月7日（火）

聖書  
聖句

ルカ 24・44～45

そこでイエスは、聖書を悟らせるた  
めに彼らの心を開いて 45節

イエス様が、弟子たちにお話を聞かせたのは、  
みことばを理解するためでしたね。弟子たちは、  
以前イエス様が話されたみことばの意味を、ぜ  
んぜんわかっていなかったのです。イエス様が  
弟子たちの心をひらいてくださり、彼らはみこ  
とばの意味を、心の底からわかるようになった  
わけです。

みことばを読むとき、イエス様が心をひらい  
てくださるよう祈りましょう。「あ！そういう  
ことだったんだ！」と、みことばが本当にわかっ  
た時って、涙が出るほどの感動。あなたにも、  
そんな感動を体験してほしいのです。

いの  
祈り

天のお父様、みことばが心の底からわか  
る体験をしたいです。どうか、わたしの  
心をひらいてください。

## 5月8日（水）



ルカ 24・45～47

その名によって罪のゆるしを得させる悔改めが、エルサレムからはじまって、もろもろの国民に宣べ伝えられる。 47節

イエス様が十字架の苦しみをうけ、三日目によみがえられること。弟子たちはやっとそのことがわかりました。そしてもうひとつ大切なこと。それは、イエス様による罪のゆるしは、世界中の国々に伝えられるということ！

イエス様とか教会とか、日本と関係ないよ～と考える人っているんですけど、それはまちがいです。聖書は、イエス様のことは世界中に伝えられる、って言っています。どこの国とか関係なし。イエス様は、全世界の救い主です。

**いの祈り** 天のお父様、イエス様が世界中の救い主であることを感謝します！ そのことをいろんな人に知ってもらえますように。

## 5月9日（木）



ルカ 24・45～48

あなたがたは、これらの事の証人である。 48節

みことばを弟子たちに語られたイエス様は、彼らに言われました、「あなたがたは、これらの事の証人である」。弟子たちは、イエス様が十字架にかかれ、よみがえられたこと（復活）を、その目でハッキリと見ました。目の前でイエス様の声をききました。たしかに目で見て、きいた人のことを「証人」というのです。

こののち、弟子たちは「わたしたちはイエス様の十字架と復活の証人です！」と人々に伝えるようになります。「キリストの証人」になったのです。弟子たちが伝えたことが、今、あなたにも伝わっているんです。すごいでしょ！

**いの祈り** 天のお父様、イエス様の十字架と復活のニュースを、わたしにも届けてくださったことを本当に感謝します！

## 5月10日（金）



ルカ 24・49

見よ、わたしの父が約束されたものを、あなたがたに贈る。 49節

キリストの証人となった弟子たち。さあつ、さっそくイエス様を伝えるぞ～！ とはいきませんでした。イエス様は、「わたしの父が約束されたものを、あなたがたに贈る」と言われたのです。それは「聖霊」のこと。神様の霊である聖霊がこられて力をいただくまでは、都にいなさい、とイエス様は言われました。人の力では、イエス様を伝えることはできないからです。

わたしたちにも、聖霊の力がが必要です。イエス様のことをどうやって伝えたらいいんだろ…となやむ、あなた。イエス様を伝える力は、聖霊だけがくださるのです。

**いの祈り** 天のお父様、自分の力ではイエス様を伝えられません。聖霊の力をわたしにもあたえてください。

## 5月11日（土）



ルカ 24・44～53

あなたがたは、これらの事の証人である。 48節

イエス様は、弟子たちに語り終えられると、彼らを祝福してくださいました。そして、みんなが見ている前で、天にのぼっていかれたのです。イエス様の十字架、復活、そして天にのぼられた姿もたしかに見て、キリストの証人となった弟子たち。弟子たちがイエス様を伝えて、次の人が伝えて、また次の人が…。そして今も、世界中に伝えられています。

イエス様の十字架と復活を信じるすべての人は、キリストの証人。あなたもキリストの証人としてあゆみませんか？ いただいた恵みを、あなただけのものにせず、ぜひ伝えてください！

**いの祈り** 天のお父様、これからわたしを、キリストの証人として、イエス様をお伝えする人にならせてください。

母の日



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ルツ 1・15～18

ルツ

あなたの民はわたしの民、あなたの神はわたしの神です。

ルツ 1・16

目標

神を愛し、人を愛して、神に祝福された生涯を送る。

5月12日（日）

聖書  
聖句

ルツ 1・16

あなたの民はわたしの民、あなたの神はわたしの神です。 16節

今日は母の日だね！ あなたをこの地球に生み出して、あなたを守り、育ててくれるお母さんに「ありがとう」のきもちを伝えよう！

さて、今日のみ言葉はルツが、ナオミという人に言った言葉です。ナオミはルツの本当のお母さんじゃなかったけれど、ルツは自分の国や人生を捨ててまで、ナオミについて行きたい！って思ったみたい。どうして？？

いっしょに過ごすうちに、ナオミの信じている本当の神様のことを知り、ルツも本当の神様に従って生きていこうと決心したんだろうね。ルツにとって、ナオミは心のお母さんだね！

祈り

天のお父様、わたしもルツのような信仰の決心をして生きていきます。

5月13日（月）

聖書  
聖句

ルツ 1・15

あなたの相嫁は自分の民と自分の神々のもとへ帰って行きました。

15節

エリメレクとナオミには、マロンとキリオンという二人の息子がいました。すんでいたベツレヘムがききんになったとき、この家族はモアブという所にげました。でも、エリメレクは死に、二人の息子もモアブ人のお嫁さんと結婚しましたが死んでしまうのです。

さいごに残ったのは二人のお嫁さんだけ。

けれどもナオミは、二人のお嫁さんたちのために神様の祝福があるようにお祈りして、故郷のモアブに返してあげようと思いました。ナオミは、どんなに辛くても自分のことでなく、相手のことをいちばんに考える人だね。

祈り

天のお父様、人のことをいちばんに考えられる優しい心をください。

5月14日（火）

聖書  
聖句

ルツ 1・15

あなたの相嫁は自分の民と自分の神々のもとへ帰って行きました。

15節

一人目のお嫁さんはオルパ。じつは、モアブという所ではいろいろな偶像がおがまれていたみたい。オルパはそこへ帰って行ったんだ。

あなたは今、本当の神様を信じていますか？これから大きくなって、いろんなことがあるでしょう。それでも最後まで神様を信じ、死んで天国に行くまで神様といっしょに人生をすごしますか？神様は、ひとり子イエス様の命をくださるほどにあなたを愛してくれています。

大切なのは、愛してくれる神様の愛からはなれないで、あなたも神様を心から愛しつづけていくことなのです。

祈り

天のお父様、ずっと一生あなたの愛を信じてあなたを愛しつづけます。

## 5月15日（水）



ルツ1・16

わたしはあなたの行かれる所へ行き、またあなたの宿られる所に宿ります。  
16節

二人目のお嫁さん、ルツは、故郷に帰るよう言われてもナオミからはなれませんでした。

自分のこれから的人生を考えたら、故郷に帰って結婚しなおして生きて行くほうが、ずっと楽だったんじゃないかなあ。

人はだれでも自分が幸せでいられる人生をすごしたいものだけど、自分がそんをしたとしても、だれかのため、そして神様のために自分をささげていく生き方もあるんだ。

じつは、そういう生き方が人にも神様にもよろこばれる生き方なんだ。それが愛なんだ。

いの  
祈り

天のお父様、自分がとくするための人生でなく、あなたと人に、わたしをささげられる愛の人生をあゆみたいです。

## 5月16日（木）



ルツ1・17

あなたの死なれる所でわたしも死んで、そのかたわらに葬られます。  
17節

インドで、貧しい人や捨てられたこども、病気で死んでいく人のために自分の一生の何もかもをささげた、マザーテレサを知ってる？ マザーテレサはよく「大切なことは、遠くにある人や、大きなことではなく、目の前にある人に対して愛をもって接すること」と言ってたよ。

ルツも同じだね。自分が今、だれを愛さないといけないのか、だれに自分の愛を使わないといけないのか、よくわかったんだね。そして、ルツは「しばらくの間」でなく「死ぬまで」ナオミを愛そうと思ったのだからすごい！

いの  
祈り

天のお父様、一生をだれかのためにささげてゆく大きな愛を教えてください。ありがとうございます。

## 5月17日（金）



ルツ1・17

わたしがあなたと別れるならば、主よ、どうぞわたしをいくえにも罰してください。  
17節

神様を信じ、どこまでも従っていこう、辛く悲しいときも神様からぜったいはなれなければ神様は助けてくれる、そう信じてますか？

ルツがナオミをこんなにも愛する気もちはなかなかマネできないこと。だけど、天の神様はご自分の命よりたいせつなイエス様をわたしたちのために十字架につけてくださるほど、愛してくれるお方でしょう？

こんなにも愛してくださる神様をつよく信じるなら、フシギ！あなたの心にも神様の愛があふれだして、目の前にいる人をつよく愛していけるのです。

いの  
祈り

天のお父様、ほかの人を愛するために、あなたの愛をもっともっと信じます。

## 5月18日（土）



ルツ1・18

ナオミはルツが自分と一緒にいるこうと、固く決心しているのを見たので、そのうえ言うことをやめた。  
18節

どうしてナオミは言うことをやめたんだと思う？ いじけちゃったから？ ルツが頑固だから？ ケンカになっちゃうから？ いえいえ。人のためになにかをしてあげることも愛だと思ふけれど、だれかの気もちをうけとめたり、うけいれてあげることも愛！

それは大きな心でないとなかなかできないことだね。ナオミは、ルツの心をつつみこんで受け入れられる大きな心を持っている愛の人だったんだね。

あなたをまるごと受け入れてくれる神様の愛のようだね！

いの  
祈り

天のお父様、人をうけいれる愛の心をください。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

I ヨハネ 5・1～5

神の子として

すべてイエスのキリストであることを信じる者は、神から生れた者である。 I ヨハネ 5・1

目標

信仰により神の子とされたことを自覚して生きる

5月19日（日）

聖書  
聖句

I ヨハネ 5・1

すべてイエスのキリストであることを信じる者は、神から生れた者である。 1節

人はみんな、お母さんのおなかで育ち、おぎゃあ！ と生れるよね？ でもそういう誕生でなく、イエス様はもう一度、生まれられないといけないって教えていたよね！

それは体の誕生でなく、霊の生まれ変わりのこと。イエス様の十字架がわたしの罪のためだと心から信じ、イエス様を救い主ですと信じた瞬間、霊が生まれ変わるんだね！ それだけでなく、神様から生れたその人はもう神様のたいせつな子どもだというお約束だよ！

あなたはイエス様を信じて、神様の子どもになりましたか？

祈り

天のお父様、イエス様によってあなたの子どもとなるお約束を感謝します。

5月20日（月）

聖書  
聖句

I ヨハネ 5・1

すべて生んで下さったかたを愛する者は、そのかたから生れた者をも愛するのである。 1節

神様はね、あなたの名前を呼んで「愛しているよ。あなたは特別なんだよ。」と、どんなときも言ってくださるお方です。神様のことを知れば知るほど、どんなに神様があなたを愛してくれているかきっとわかるはず。どうかな？

それと同じように、神様の子どもになった人たちのことも、おなじ愛で、神様は愛してくださっているよ。

だいすきな神様が、わたしを愛されたように、神様の子どもたちを愛しているんだもの。わたしも、神様の愛されている人を愛したい！

祈り

天のお父様、あなたの愛されている人たちを愛します。

5月21日（火）

聖書  
聖句

I ヨハネ 5・2

神を愛してその戒めを行えば、それによってわたしたちは、神の子たちを愛していることを知るのである。 2節

あなたが大好きなお友だちに、いっしょうけんめいやさしくしてあげたら、「だいすきだよ」って言わなくても「だいすきな気もち」って伝わるでしょう？

「だいすき」はね、そのことばもたいせつだけど、何かをしてだれかの力になってあげることのほうがもっとたいせつなんじゃない？

そうやって、神様の家族が、おたがいの力になったり支えあったりしていれば、そこに愛があるんだなって、みんなに伝わっていくよね。

祈り

天のお父様、ことばよりも、だれかの力になって愛をつたえられますように。

5月22日(水)

聖書  
聖句

Iヨハネ5・3

神を愛するとは、すなわち、その戒めを守ることである。 3節

戒めというのは、ルールの中で、神様からの命令。でもそれは、あれもこれも守っていない子にしていると天国に行けないよ！というきびしいものではなく「互いに愛する」ということだけなのです。

神様が本当にあなたに願っておられるのは、イエス様が愛された愛で愛し合うこと！イエス様が私達のお手本っていうことだね。ゆるしあうことも、助け合うことも、祈り合うことも、きっとできるよ、イエス様の愛が本当にわかるなら。だって心の中には愛がたくさんあって喜びがいっぱいだから！

祈り 天のお父様、イエス様の愛で心をいっぱいにしてください。愛のルールで生きられますように。

5月23日(木)

聖書  
聖句

Iヨハネ5・4

すべて神から生れた者は、世に勝つからである。 4節

どうしても愛したくない、どうしてもゆるしたくない、そんな人がいますか？ だとしたら、心の中はものすごく苦しいよね。

イエス様はね、十字架にかかることを知りながら「勇気をだしなさい。わたしはすでに世に勝った！」と励ましてくださいました。

傷つけたり、うらぎったり、ばかにする人だらけの世界でも、イエス様が愛し続け、ゆるし続けたのは、だれにもうばえない神様からの愛と喜びと平和が心にあったからなんだ。

そして、あなたもイエス様が世に勝たれたように、ぜったい大丈夫！と約束されているよ！

祈り 天のお父様、世に勝たれたイエス様のお約束を感謝します。

5月24日(金)

聖書  
聖句

Iヨハネ5・1

わたしたちの信仰こそ、世に勝たしめた勝利の力である。 4節

悪魔がこわいとか、罪をどうにかしたいけど自分じゃどうにもできないなんて、こわがっている人はいませんか？

でもね、それともいせつな「気づき」だと思ふよ。人は自分の力では罪や悪魔の強い力に勝つことはできないでしょう？

だからこそ、イエス様が十字架にかかって悪魔に勝ち、みんな恐れている死や地獄の力に勝ってくださったんだもの。

そっか！ イエス様がもう勝ってくださったんだから、おそれなくていいんだね！

祈り 天のお父様、よわいわたしのために、イエス様が罪や悪魔や死の力に勝ってくださっていることを信じ、感謝します。

5月25日(土)

聖書  
聖句

Iヨハネ5・5

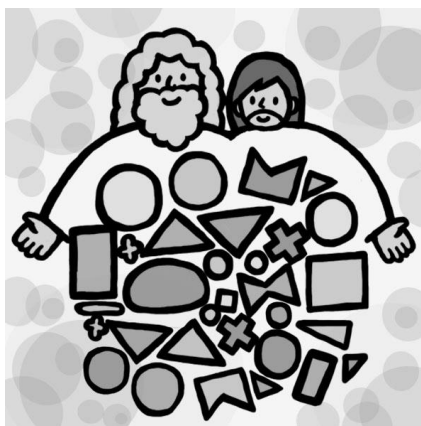
世に勝つ者はだれか。イエスを神の子と信じる者ではないか。 5節

ヨハネがこの手紙を書いていたころ、にせ教師と呼ばれる人たちがたくさんいたみたい。その人たちは、イエス様は神様からつかわされた救い主ではないとか、罪なんてないとか、神様が人にどんなことを願っておられるかを無視するようなことを教えたんだ。

あなたのまわりもきっと同じでしょう。イエス様を信じてなくてもみんな天国に行くとか、イエス様が救い主なんて何言ってるの？とか。

でもね、聖書はそう言っていないよね。イエス様は神様のひとり子、救い主。イエス様を信じた人が神様のところへ行けるって言うてるよ。聖書以外のにせの教えに注意！

祈り 天のお父様、この世界にもにせの教えがたくさんあります、お守りください。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

エペソ 2・19～22

神の家族と共に

そこであなたがたは、もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族なのである。エペソ 2・19

目標

神の家族の一員として生きる

5月26日（日）

聖書  
聖句

エペソ 2・19

そこであなたがたは、もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族なのである。 19節

イエスを信じた人を「あなたはわたしの愛する子ども」と言ってくださる神様。全世界を見てみると、イエスを信じて神様の子どもになった人がたくさんいるんだから、みんな神様の家族で、あなたもその一人だよということです。

イスラエルという国を神様が選んで、ユダヤ人だけが選ばれた人たちだったのに、イエスを信じることで、どの国の人でも選ばれた神様の子どもにされ、神の家族になる！ というお話です。

祈り

天のお父様、わたしもイエスを信じてあなたの子どもとなり、神様の家族に選ばれていることを感謝します。

5月27日（月）

聖書  
聖句

エペソ 2・19

そこであなたがたは、もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族なのである。 19節

どんな人も、最初はお父さんとお母さんがいて、なかには兄弟や姉妹ができ、家族ができいくよね。でも、本当の家族だってケンカしたり傷つけ合ったりするものです。

こんな小さな家族で、愛したりゆるせたりできないのに、どうやって神様の家族を愛していけるだろう！

相手が変わることばかりねがうのではなく、「愛します」というあなたの心と行いが必要なんだよね。神様のあなたへの愛が、あなたを変わせてくださるんだよね！

祈り

天のお父様、あなたにこんなにも愛されているわたしも「愛する人になる」という決心をします。

5月28日（火）

聖書  
聖句

エペソ 2・20

あなたがたは、使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である。 20節

使徒は新約聖書の時代、預言者は旧約聖書の時代の人。そして、聖書の物語の続きにはわたしたちがいるんだね。聖書がなければ、神様もいのちの意味や目的も知らないで生きていたかも…聖書は、あなたの「人生のおうち」がどんな場所に建っている？と聞いているんだ。

どんなに新しくてきれいなおうちも、もし建っている場所がしっかりした良い場所（土台）でなければ、地震や洪水が来たとき、あっというまにこわれてしまうでしょう？人生も同じなんだよ。土台は聖書！

祈り

天のお父様、聖書を知らなければ今の自分はありませんでした。感謝します。

## 5月29日（水）



エペソ 2・20

あなたがたは、使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である。 20節

かしら石というのはね、ふたつの大きな壁をつないで支える、家を造るのにどうしてもひつような石のこと。聖書は、イエス様がかしら石って言ってるよ。

イエス様は、旧約聖書に約束されたユダヤの救い主だったのに、ユダヤ人たちはイエス様を信じず十字架につけてしまったから、異邦人とよばれる私たちにイエス様の救いがやってきたんだ。イエス様なしに神様の救いの計画は完成しないんだから、まさにかしら石だね！

いの祈り

天のお父様、このわたしにも、かしら石イエス様の救いが届いたことを感謝します。

## 5月30日（木）



エペソ 2・21

このキリストにあって、建物全体が組み合わされ、主にある聖なる宮に成長し、 21節

ユダヤ人はイエス様を捨ててしまったんだから、神様の救いはもう必要ないって思う？

いいえ。神様はわたしたちに救いを与えてくださったように、すべてのユダヤ人もイエス様を救い主として受け入れることを、今も心から願っておられます。そうしないと、旧約聖書に約束されたユダヤ人の救いは完成しないだけでなく、なんのための旧約聖書だったの？ っていうことになっちゃうよね。

あなたがイエス様を信じたように、すべてのユダヤ人がイエス様を信じる日が来ることを祈っていきましょう！

いの祈り

天のお父様、ユダヤの人すべてが、イエス様を信じられますように。

## 5月31日（金）



エペソ 2・21

このキリストにあって、建物全体が組み合わされ、主にある聖なる宮に成長し、 21節

教会って聞くと、建物のことだと思っちゃう人、少なくないよね？ でもじつは、教会は、イエス様を信じている一人ひとりの集まりのことなんだ。その、イエス様を信じる一人ひとりが集まって、祈り合い、愛し合い、イエス様のために喜んで働くときに、少しずつかもしれなくても、建物が少しずつ完成していくように、成長していくんだ！

だから、教会はひとりぼっちで信じてるのでも戦うのでもないんだね。だれよりも、イエス様がいっしょにいて、働いてくださるから、心強いよね！

いの祈り

天のお父様、みんなでいっしょに成長する教会でありますように。

## 6月1日（土）



エペソ 2・22

あなたがたも、主にあって共に建てられて、霊なる神のすまいとなるのである。 22節

あなたには大好きな人がいますか？ 大好きな人には自分のことをもっと知ってほしいし、たくさんお話ししたり、プレゼントもあげたいし、いっしょにいたいよね！ そういう、大好きな人との関係を「愛の交わり」っていうんだ。

わたしを愛し、信じるすべての人を愛される神様はね、愛の交わりをあなたと持ちたいと願われるお方です。イエス様を心から信じる教会には成長があるだけでなく、神様ご自身がいっしょにいて、そこに住んで、愛の交わりをしてくださるんだ。すごいことだよ！

いの祈り

天のお父様、こんな小さなわたしたちと共に住んでくださることを感謝します。





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 13・34～35

愛によって

わたしは、新しいいましめをあなたがたに与える、互に愛し合いなさい。ヨハネ 13・34

目標

神に愛されている者として、互いに愛し合う生き方を身につける。

6月2日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ 13・34

わたしは、新しいいましめをあなたがたに与える、互に愛し合いなさい。34節

イエス様は、新しいいましめを与えられました。それは「互に愛し合いなさい」というもの。わたしたちが大切にまもっている神様の言葉、いましめはたくさんあります。イエス様は、その中でもとくに大切ないましめは「互に愛し合う」ことだよ！と新しく教えられました。

人間はだれでも、「ああしてほしい、こうしてほしい」と自分ばかり愛してもらうことを考えがち。イエス様は、「互に」愛し合いなさいと言われましたよ。そのためには、まず自分のほうから愛していかないと。そこが大切です。

いのちの祈り 天のお父様、たがいに愛し合うことができるために、まずはわたしから愛することができるよう、助けてください。

6月3日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ 13・34

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。34節

イエス様がわたしたちを愛してくださったように、愛し合う。これって、とてもむずかしいことなのでは…。まさに、ここが、これまでとちがう「新しい」いましめなんですね！

イエス様は、どんなふうに愛してくださいましたか？ わたしたちの罪のみがわりに、十字架で命をすててくださいました。命をすてるほどの愛。そんな愛で人を愛せるかな…と、考えてしまいます。そして、イエス様の愛がどんなに大きいかを考える、よい機会です。イエス様の愛をめざして生きよう！

いのちの祈り 天のお父様、わたしの愛は、イエス様の愛とくらべたらほんとうにちっぽけです。イエス様の愛をめざしてあゆみます。

6月4日(火)

聖書  
聖句

ヨハネ 13・35

互に愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであらう。35節

互に愛し合うと、すべての人が、「あの人はクリスチャンだ、だから愛し合っているんだ」と、認めてくれるということです。クリスチャンのしるしは、愛し合う人たちだってこと。それが、イエス様のほんとうの弟子の姿なのです。

クリスチャンは正しい人でしょ？と思う人が多いけど、正しいだけではダメ。愛がないと、「あの人は正しくない、悪い人だ！」と、すぐ人をさばくようになります。わすれないで。クリスチャンは、まず愛が基本ですよ。

いのちの祈り 天のお父様、なによりも愛し合うことを大切にします。クリスチャンだ！とわかってもらえる人になりたいです！

## 6月5日（水）



I ヨハネ 4・7～8

愛さない者は、神を知らない。神は愛である。 8節

おなじヨハネが書いた、ヨハネの第一の手紙を読んでみましょう。わたしたちが愛し合うために、大切なことが書かれています。

愛することができ人は、神様から生まれ、神様を知っている人。ぎゃくに、愛することができない人は、神様を知らない人です、とありますね！ もし、あなたに愛せない誰かがいるとしたら、神様の愛を知るひつようがあるので。なぜなら、神様は愛だから！ 愛は、もともと神様がもっておられて、始まったのです。愛せない人がいるのは、とてもくるしいこと。神様が、ほんとうの愛を教えてください。

**いの 祈り** てん とうさま ちか  
天のお父様、あなたに近づきます。ほんとうの愛を、わたしに教えてください。

## 6月6日（木）



I ヨハネ 4・9～10

わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。 10節

イエス様は、父なる神様にとって、なによりも大切な存在でした。イエス様のかわりになる存在なんていないので、ひとり子、というのです。そんなイエス様を十字架につけるなんて、どんなに苦しかったか！ ご自分を失うような苦しみでした！

こんな思いをしてまで、父なる神様はあなたを愛されたのです。あなたが罪ゆるされて、永遠のいのちをもつためです。こんな愛が、ほかにありますか？ ぜひにありません。これが愛です。ほんとうの愛なのです。

**いの 祈り** てん とうさま  
天のお父様、あなたはこんなにまで、わたしを愛してくださいました。ほんとうの愛で愛してくださり胸がいっぱいです。

## 6月7日（金）



I ヨハネ 4・11～12

神がこのようにわたしたちを愛して下さったのであるから、わたしたちも互に愛し合うべきである。 11節

神様が愛してくださったのは、わたしたちが愛し合うためでもあるのです。それは、すべての人が、神様の愛を知るためです。

神様を目で見ることはできませんね。でも、わたしたちが愛し合うと、わたしたちをとおして神様の愛のすばらしさは伝わっていくんです。愛し合うところに、神様は共にいてくださいます。「神様の愛ってすごいだね…」と、神様を知らない人にもきっと伝わります！ それが、神様の心からの願いなのです。

**いの 祈り** てん とうさま あい  
天のお父様、あなたが愛してくださったので、わたしも心から愛し合います。わたしをとおして、人々にあなたの愛が伝わりますように。

## 6月8日（土）



ヨハネ 13・34～35

わたしは、新しいいましめをあなたがたに与える、互に愛し合いなさい。 34節

最後に、「愛し合う」というのは、自分と考へがちがう人、気のあわない人どうしても愛し合う、ってことをおぼえてください。そんなのむりだよ…と言うのが世の中。でも、教会では、ちがう人どうしても愛し合うのです！ それが、世の中とまったくちがうところ。これはイエス様を知らない人には驚きです。イエス様のいましめは、いつでも新しく人々を驚かせます。

ちがう者どうし、互に愛し合う。これがほんとうの教会の、ほんとうのクリスチャンどうしの姿です！

**いの 祈り** てん とうさま ひと たがい あ  
天のお父様、どんな人とも互に愛し合う、ほんとうの教会、ほんとうのクリスチャンにならせてください！

ペンテコステ



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

使徒1・6～14、2・1～4  
ペンテコステ  
ただ、聖霊があなたがたにくだ  
る時、あなたがたは力を受けて  
…わたしの証人となるであろう。  
使徒1・8

目標

聖霊に満たされ、キリストの証  
し人として生きる。

6月9日(日)

聖書  
聖句

使徒1・6～7  
時期や場合は、父がご自分の權威に  
よって定めておられるのであって、あ  
なたがたの知る限りではない。 7節

今日はペンテコステ。聖霊なる神様がこられ  
た記念日です！ 聖霊がこられる十日前の話を  
しましょう。復活されたイエス様と会った弟子  
たちは「ついにイエス様が王になって、イスラ  
エルを救ってくれるの？ どうなるの？」と思っ  
ていました。でもイエス様は「それは父なる神様  
が決められるから、あなたがたは知らなくてい  
いんですよ」と教えられたのです。

気になることって、なんでも知りたくなるで  
しょ。でも、神様がぜんぶ知っておられるから、  
だいじょうぶ。おゆだねする信仰が大切です。

いのちの祈り 天のお父様、わたしに必要なことだけ、教  
えてください。あとはぜんぶ、あなたに  
おゆだねできるよう、助けてください。

6月10日(月)

聖書  
聖句

使徒1・8  
ただ、聖霊があなたがたにくだる時、  
あなたがたは力を受けて…わたしの  
証人となるであろう。 8節

イエス様は「聖霊があなたがたにくだる」と  
言われました。聖霊なる神様が、わたしたちの  
心に直接、住んでくれるということ。これっ  
てすごい！ そのとき、聖霊の力があた  
えられて、地のはてまでイエス様を証する人  
になる、というんですから！ 日本はまさに、地  
のはての国。聖霊の力を受けた人々が、イエ  
ス様を伝えにきてくれたのです。

自分の力では、イエス様を証することはで  
きません。勇気もでないし、あきらめちゃう。  
だから、どうしても聖霊の力がひつようです。

いのちの祈り 天のお父様、聖霊がわたしの心に住んで  
くださることを感謝します。イエス様を  
証する聖霊の力をあたえてください。

6月11日(火)

聖書  
聖句

使徒1・9～11  
天に上って行かれるのをあなたがた  
が見たのと同じ有様で、またおいでに  
なるであろう。 11節

イエス様はお話がおわると、なんと弟子たち  
の目の前で天にのぼっていかれ、雲につつまれ  
て見えなくなってしまいました！ ああ、イエ  
ス様が…！ 弟子たちがそのようなすを見てい  
ると、二人のみ使いがそばに立ち、こう言ったの  
です。「天に上って行かれるのと同じ様子でま  
たこられます」と。

イエス様は、もういちど地上にこられる！ こ  
のことを「再臨」と言います。それがいつかは、  
わからない。神様だけが知っておられます！ あ  
なたは、心のじゅんび、できてる？

いのちの祈り 天のお父様、いつイエス様がこられても  
良いように、いつも心をイエス様にむけ  
させてください。

## 6月12日(水)



使徒1・12~13

それから彼らは、オリブという山を下ってエルサレムに帰った。

12節

イエス様が天にのぼられたあと、弟子たちはエルサレムにいきました。イエス様が「エルサレムからはなれないでいなさい。そこで、神様が約束されている聖霊がこられるのを待ちなさい」と言われていたんです(4~5節も読もう)。

イエス様が目の前からいなくなって、不安な弟子たち。とにかくイエス様の言われたとおりにしよう、聖霊を待とう！とエルサレムへ行きました。イエス様の言葉のとおりにする、これは、聖霊の力を受けるための、大切なじゅんびなのです。聖霊は、み言葉をまもる人をよろこばれるからです。

いの祈り 天のお父様、聖霊の力をうけるために、イエス様の言葉にしたがっていきます。

## 6月13日(木)



使徒1・14

彼らはみな、婦人たち、特にイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちと共に、心を合わせて、ひたすら祈をしていた。

14節

弟子たちのそばには、イエス様の母マリヤ、兄弟たちもいました。約束の聖霊は、いつ、きてくださるんだろう…。そんな不安もあったけど、とにかくお祈りして待とう！と、みんなで心を合わせて、ひたすらお祈りしたのでした。

祈って待つ。自分でなにかをしなくて、とにかくお祈りに集中。これは、神様にぜんぶおまかせするいちばんの方法です。いつもよりちょっと時間をとってお祈りしてみる、このチャレンジはおススメ。聖霊の力をきっと体験します！

いの祈り 天のお父様、集中してお祈りすることにチャレンジしてみようと思います！

## 6月14日(金)



使徒2・1~4

また、舌のようなものが、炎のように分れて現れ、ひとりひとりの上にとどまった。

3節

イエス様が天にのぼられてから十日後。みんなであいっしょにいと、とつぜん、ゴーッと風のふくような音が…。そして、舌じゃないけど舌のようなものが、炎じゃないけど炎のようにわかれて、ひとりひとりの上にとどまりました。ついに聖霊がきてくれたのです！弟子たちは、はじめて聖霊に満たされる経験をしました。これが最初のペンテコステ！

イエス様は、あなたも聖霊に満たされることを約束してくださっています。祈りましょう、あなたのペンテコステのために。

いの祈り 天のお父様、わたしもイエス様の約束どおり、聖霊で満たされる経験ができますよう、みちびいてください。

## 6月15日(土)



使徒2・1~4

すると、一同は聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、いろいろの他国の言葉で語り出した。

4節

聖霊に満たされた弟子たち。なんと話したことのない、ほかの国の言葉で語りはじめたのです！しかも、いろんな国語で。地のはてまでイエス様を証するために、聖霊が力をくださったのです。なによりもすごいのは、イエス様を証する勇気が、ドカンとばくはつしたこと！

あなたが聖霊に満たされたら、イエス様を証したい、という勇気があたえられます。あなたにふさわしい力もあたえられるでしょう！さあ、みんなであいっしょにイエス様の証し人になろう！

いの祈り 天のお父様、わたしを聖霊で満たして、イエス様を証する勇気をあたえてください！

父の日



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

使徒3・1～10  
キリストの名による歩み  
ナザレ人イエス・キリストの名  
によって歩きなさい。

使徒3・6

目標

キリストによって力強くされて  
生きる。

6月16日（日）

聖書  
聖句

使徒3・6  
ナザレ人イエス・キリストの名  
によって歩きなさい。 16節

今日は父の日だね！いつも働き、あなたを  
守ってくれるおうちのリーダーに「ありがとう  
ございます！」と感謝しよう！

お父さんといえば、天のお父様も、あなたを  
愛し、守り、あなたが力強く生きていくこと  
を願われていることを思い出してね。

天のお父様の願いはね、あなたの罪を背負っ  
て十字架にかかって死に、よみがえられたイエ  
ス様をあなたが信じて、天国に行くその日まで  
イエス様といっしょに生きていくこと！

イエス様がいつもいっしょだから、こわいこ  
とはないね！神様の子どもでよかった！天  
のお父様、ありがとう！

祈り

天のお父様、いつもいっしょにいてくだ  
さるイエス様と、歩んでいきます。

6月17日（月）

聖書  
聖句

使徒3・1～2  
ペテロとヨハネとが、午後三時の  
祈のときに宮に上ろうとしている  
と、生れながら足のきかない男が、  
かかえられてきた。 1～2節

信仰にもテストがあるって知ってる？

それはとつぜんやってくるけれど、テストに  
合格できるかどうかは、神様とあなたがいつも  
どんな関係でいるかがとても大切なのです。

毎日の生活の中で、聖書をよみ、お祈りする  
ということは本当に大切なこと！ペテロは、イ  
エス様が十字架にかかるとき、3回もイエス様  
をしらないと言った人だったね。でも聖霊を受  
けたペテロは前の弱いペテロではなかったよ。

さあ、信仰のテストが始まるよ！

祈り

天のお父様、信仰のテストに合格できる  
聖霊の力を与えてください。

6月18日（火）

聖書  
聖句

使徒3・3～5  
ペテロとヨハネとは彼をじっと見  
て、「わたしたちを見なさい」と言っ  
た。 4節

ペテロとヨハネが出会ったのは、生まれてか  
ら一回も立ったことのない人でした。いつも  
美しの門の前に、物のように置いてもらって  
お金をもらうことしかできない、そんな人。こ  
の人の前を通りすぎて行く人たちは、きっとこ  
の人を「かわいそう」「きたないこじきだな」、  
というふうにしに見られなかっただろうね。で  
も、ペテロとヨハネはちがったよ。

イエス様が、罪人や、病氣の人を見つめる、  
信仰の目、イエス様の目で見つめたんだね。

イエス様の目で見るとき、その人が本当に  
必要なもの、自分に何ができるかがわかるよ。

祈り

天のお父様、イエス様の目で人や物ごと  
を見られるように助けてください。

## 6月19日（水）



使徒3・4～5

わたしたちを見なさい。

4節

「わたしを見て！」っていうときは自分がめだちたいときや、気にしてほしいときだね。聞かれた人も「何？何かくれるの」なんて、わくわくするよね！でも、ペテロたちの「見なさい」はちがうみたい！

ペテロたちは、イエス様から、イエス様の愛、赦し、本当の喜びや信仰…たくさんのもをもらいました。だから、きっとイエス様からもらったものをあげたかったんだね。そして、神様にはできないことはないことを教えてあげたかったんだね。

わたしたちも、イエス様からもらったものをだれかに見せられるようになりたいね！

いの

祈り 天のお父様、自分のものではなく、イエス様からもらったものをだれかに見せることができますように。

## 6月20日（木）



使徒3・6

金銀はわたしには無い。しかし、わたしにあるものをあげよう。

6節

ペテロは、自分のことをよく知っている人だったと思うよ。イエス様が十字架につくときにうそをついてにげちゃった、弱くてかっこわるい人間だって。でも、ただの漁師だった、弱いダサイ自分でも、だれにも負けない宝ものがあることがわかったの。それはイエス様！！

聖霊を受けたとき、イエス様が心の中に住んで、はげまし、勇気づけ、福音を伝える力や知恵になってくれることがわかったんだ！

あなたの心には、イエス様がいますか？

イエス様がいるならば、どんなことにも負けないで、何度でも立ち上がれるんだよ！

いの

祈り 天のお父様、宝もののイエス様を心にもらって、どんなことにも負けないわたしでいたいです。

## 6月21日（金）



使徒3・7～8

歩き回ったり踊ったりして神をさんびしながら、彼らと共に宮にはいって行った。

8節

足の不自由な男が、イエス様のお名前ですくよう命じられると、あらフシギ！足がみるみる元気になってぴょんっと立ちあがったのです！そして、神様を心からさんびし、れいはいをしに行きました。「イエス様のお名前」とは、イエス様ご自身のこと。男の人はその日をすごす「お金」をもらうつもりだったのに、「イエス様ご自身」をいただいたのです！

イエス様をいただくことが、人をこんなに元気にすること、神様をれいはいする生活にすることがよ～くわかるおはなしだね。

いの

祈り 天のお父様、イエス様をいただいて元気いっぱいになり、あなたのすばらしさをもっとわかる生活をできますように。

## 6月22日（土）



使徒3・9～10

彼の身に起ったことについて、驚き怪しんだ。

10節

イエス様のしてくださることは、いつもふしぎやおどろきでいっぱい！

このときも、足が治った男の人がおどろいただけでなく、それを見ていた人たちみんな、びっくりぎょうてんしたって！

「何が起こったんだ！」「いったいこんなことができるのはどんなお方だ！」「どういうことだか知りたい！」そんな、人々をあっと言わせるほどの力がイエス様にはあるのです。

あなたも、イエス様がいつしよなら、あなたにしてくださったイエス様の救いのわざで、お友だちをあっと言わせられるんだよ。

いの

祈り 天のお父様、人をあっと言わせる、力あるイエス様と、これからもいつしよに歩いていきます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

使徒9・1～19  
天からの光に照らされて  
天から光がさして、彼をめぐり  
照した。使徒9・3

目標

天からの光に照らされ、キリストによる新生の恵みに生きる。

6月23日（日）

聖書  
聖句

使徒9・3  
天から光がさして、彼をめぐり照した。3節

今週の聖書の個所には、サウロという人が登場します。この人は、のちのパウロです。イエス様と出会う前はサウロ、と呼ばれていました。そんな彼に、天から光がさして、彼はイエス様と出会うのです。

あなたは、どんなふうにイエス様と出会いましたか？ 友だちに教会にさそわれて出会った人、生まれた時から教会に行っていて出会った人、出会ったのかな～って、よくわかんない人、様々でしょう。今週は、あなたの心の中に天から光がさして、サウロのようにイエス様と出会う体験をしてほしいのです。

いの祈り

天のお父様、わたしもサウロのように、イエス様と出会う体験ができるように、みちびいてください。

6月24日（月）

聖書  
聖句

使徒9・1～2  
さてサウロは、なおも主の弟子たち  
に対する脅迫、殺害の息をはずませ  
ながら、1節

サウロは、イエス様を信じるクリスチャンが  
大きらいでした。「イエスが復活したなんてウソだ！」と怒りに燃えて、教会を荒らして人々を牢屋に入れていました。それが正しいことだ  
と思ひこんでいたのです。それは、サウロがイエス様に出会ったことがなくて、どういうお方  
かわからなかったから。

あなたの周りに、教会やイエス様を良く思わ  
ない人がいるかもしれません。それは、イエス  
様のことを全然知らなくて、わからないからで  
す。イエス様のこと、知ってほしいですね！

いの祈り

天のお父様、わたしの周りにいるすべての  
人に、イエス様がどういうお方か知っても  
られますように。

6月25日（火）

聖書  
聖句

使徒9・3～6  
「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害  
するのか」と呼びかける声を聞いた。4節

サウロがクリスチャンをつかまえるため、追  
いをいそいでいた、その時！ 天からものすごく強  
い光がさして、サウロを照らしました！ 光の  
中からこえが聞こえます…「サウロ、サウロ、  
なぜわたしを迫害するのか」。なんと、イエス様の  
声だったのです！ サウロは大ショック。イエ  
ス様の十字架と復活はウソだと思っていたのに。

サウロはイエス様の声をハッキリ聞き、イエ  
ス様と出会いました。イエス様に出会うために  
は、だれの言葉より、イエス様の言葉のみを聞く  
ことが必要なのです。

いの祈り

天のお父様、わたしが、なによりもイエ  
ス様のみことばを集中して聞くことが  
できるように、助けてください。

## 6月26日（水）

聖書  
聖句

使徒9・7～9

彼は三日間、目が見えず、また食べることも飲むこともしなかった。

9節

天からの光に照らされたサウロは、目がまったく見えなくなりました。見えないまま三日間、なにも食わず飲まずにお祈りしていました。「イエス様、ひどいことをしてきて、ごめんなさい…」、そう祈ったことでしょう。

目が見えない三日間は、サウロが罪を悔いあらためるための大切な時間でした。イエス様に出会った人は、かならず自分の罪がわかるようになるのです。罪を悔いあらためる時間をもつことは、あなたにとっても、どうしても必要なことです。

**いの祈り** 天のお父様、わたしの心の中も光で照らして、罪を教えてください。私の罪をどうぞおゆるしてください。

## 6月27日（木）

聖書  
聖句

使徒9・10～16

わたしの名を伝える器として、わたしを選んだ者である。 15節

サウロがいたダマスコに、アナニヤというクリスチャンがいました。そのアナニヤにイエス様は、「サウロの所へ行きなさい」と命じられました。アナニヤはびっくり！「サウロって、おそろしい迫害者のはず…」。しかしイエス様は言われました、「彼は、わたしのことを伝える人として、わたしを選んだのだよ」。

たしかに、サウロはたくさんの罪をおかしてきました。でも、そんなサウロをイエス様はゆるすだけじゃなく、選んでくださったのです。イエス様と出会って、罪を心から悔いあらためた人は、イエス様のために働く人になれるのです！あなたも！

**いの祈り** 天のお父様、わたしも、イエス様のために働く人になれることを感謝します！

## 6月28日（金）

聖書  
聖句

使徒9・17

兄弟サウロよ、あなたが来る途中で現れた主イエスは、…わたしをここにおつかわしになったのです。 17節

アナニヤは、「こわい！」という思いはあったでしょう。しかし、イエス様に従ってサウロがいる家に行きました。そして、サウロの上に手をおき、こう呼びかけました、「兄弟サウロよ」。教会では、クリスチャン同士で兄弟姉妹とよびます。アナニヤはサウロをゆるし、「兄弟」と呼んだのです。

自分に悪いことをする人がいても、愛してゆるすのがクリスチャンなのですね、イエス様のよう。サウロはアナニヤをとおして、イエス様の愛、ゆるしを知ったのでした。

**いの祈り** 天のお父様、わたしもイエス様のよう、どんな人であっても愛し、ゆるす人にならせてください。

## 6月29日（土）

聖書  
聖句

使徒9・18～19

サウロの目から、うろこのようなものが落ちて、元どおり見えるようになった。 18節

アナニヤに手をおいてもらったサウロの目から、ポロっと何かが落ちました。「うろこのようなもの」ですって。そしてサウロは、元どおり見えるようになりました。イエス様と出会ったサウロの、新しい人生の始まりです！サウロはイエス様を信じて罪ゆるされ、神の子として新しく生まれる経験をしたのです。この経験を「新生」といいます！

あなたにも、イエス様のみことばの光がさしています。ハッキリとイエス様を信じて、新生の恵みをいただきましょう。サウロのように、神の子としての人生を歩きはじめましょう！

**いの祈り** 天のお父様、わたしも神の子として、新しい人生を歩ませてください！





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

使徒16・6～10  
マケドニアからの叫び  
マケドニアに渡ってきて、わたし  
たちを助けて下さい。  
使徒16・9

目標

救いを求めている人々を覚え、  
宣教への招きに応答する。

6月30日(日)

聖書  
聖句

使徒16・9  
マケドニアに渡ってきて、わたし  
たちを助けて下さい。  
9節

イエスを信じてからのパウロ(サウロ)は、  
多くの人にイエスを伝える人になりました。  
周囲の人々はびっくり。「あの人はイエスを  
信じたんだ!」とクリスチャンは大喜び。クリ  
スチャンを迫害するユダヤ人たちは「あの裏切  
り者!」とパウロの命をねらい始めたのでした。  
そんな中、パウロはマケドニア人の幻を見  
ます。この幻には、神様の大切なメッセージ  
が込められていました。神様はいろいろな方法  
でメッセージを伝えられますから、いつも神様  
にアンテナをむけることが大切。いちばん大切  
なのは、み言葉にアンテナをむけることです。

祈り 天のお父様、いつでもあなたのメッセージ  
を聞けるよう、み言葉にアンテナをむけて  
いきます。

7月1日(月)

聖書  
聖句

使徒16・6～7  
アジアで御言を語ることを聖霊に禁  
じられた。  
6節

アジアでイエスを伝えようと、パウロたち  
は旅をつづけようとしていました。ところが、聖霊  
様が「アジアでは語らないように」と禁じられ  
たのです。しかも、二度も! みことばを語る  
ことは大切なことなのに、ダメなんて、どうし  
て?

いっしょうけんめい祈っても、うまくいかな  
いことってあります。「神様は聞いてくれな  
い」と思うけど、ちがうんです。神様はもっと  
良い道を考えてくれているからなんです。「ち  
がうよ、こっちだよ」も、りっぱな神様のこた  
え。あなたのお祈りは、聞かれています。

祈り 天のお父様、あなたが「ちがうよ」と言わ  
れる時も、お祈りを聞いてくださっている  
ことを信じます。

7月2日(火)

聖書  
聖句

使徒16・6～8  
それで、ムシヤを通過して、トロア  
スに下って行った。  
8節

アジアに行くことを聖霊様にとめられ、その  
命令に従っていきついたのは、トロアスという  
港町。パウロたちがまったく予定にいない  
ところでした。目の前の海をみながら、「なん  
でこんな所にきたのかな…」と考えたでしょ  
う。でも、聖霊様に導かれてたどりついたのは  
たしかなこと。

わからないときって、頭がモヤモヤしてスッ  
キリしません。そういう時は、神様におまかせ  
します!と祈るのです。それが大切。モヤモヤ、  
スッキリしない時間は、あなたが神様におまか  
せするかどうか、神様が見ておられるのです。

祈り 天のお父様、どんなときも、どんなこと  
も、あなたにおまかせすることができま  
すように。

## 7月3日（水）



使徒16・9

マケドニヤに渡ってきて、わたしたちを助けて下さい。 9節

トロアスでの夜、パウロは幻を見ました。海のむこうに住む、ひとりのマケドニヤ人が「わたしたちを助けてください」とパウロにお願いするのです。「マケドニヤに行けってこと?!」そこはパウロが行こうとはまったく考えていない場所。ぜったいアジアに行くんだ!と考えていたから。

わたしたちは、ぜったいこれがいい!と思ひこむことがあります。でも神様は、わたしたちの「思いこみ」をゴッ!とこわして、もっとすばらしい道を教えてくださるんです。「こっちに行ってよかった!」とかならず思うはず。神様のお考えがいちばんです。

**いのり** 天のお父様、わたしの「思いこみ」をこわして、もっと良い道を教えてください。

## 7月4日（木）



使徒16・10

神がわたしたちをお招きになったのだと確信して、 10節

「神様はわたしたちを、マケドニヤに招いている。そこにイエス様の救いをひつようとする人々がいるんだ!」。パウロはすぐに確信しました。アジアに行きたいのに、二度もとめられてトロアスに来てしまったこと。すべてはマケドニヤに行くための、神様のみちびきでした。頭のモヤモヤもスッキリです!

あなたの人生でおこることぜんぶ、意味のないことはひとつもありません。神様はあなたを愛してくださっているんですもの。「このためだったんだなあ」と、神様がスッキリさせてくださる時が、きつときます。

**いのり** 天のお父様、あなたがわたしを愛してくださるので、おこることすべて、意味があると信じます。

## 7月5日（金）



使徒16・10

わたしたしは、ただちにマケドニヤに渡って行くことにした。 10節

あなたは、神様のみどころがわかった時、どうする? 「はい、神様すぐ従います!」って言いますか? 「ちょっとまって〜」とモタモタすることもあるかもしれませんね。

パウロたちのすごいところは、「よし、マケドニヤにすぐに行くぞ!」とすぐに従うところ。パウロにとっていちばんの道は、神様が知っておられます。パウロもそれがよくわかっていたので、モタモタする時間がもったいない。パワフルなパウロらしい。でも、わたしたちもすぐ従う、すぐ行動、そうなりたいですね。すぐに従ったほうが、いっぱい神様を体験しますよ!

**いのり** 天のお父様、パウロのように、あなたにすぐに従って行動できる人になりたいです。

## 7月6日（土）



使徒16・6~10

マケドニヤに渡ってきて、わたしたちを助けて下さい。 9節

トロアスから、船でマケドニヤに渡ったパウロたち。そのあと、大変なことはたくさんあったけど、マケドニヤにイエス様を信じる人がたくさんおこされました。神様に従ったので、すばらしいことがおこったのですね。

あなたのまわりには、実はイエス様を知らなくて「助けてください」とさけんでいる人がいるのです。学校や近所のお友だち、家族。神様が、パウロのようにあなたを招いています。まずは、お祈りすることから。そして、まずは一人に伝えてみる。神様は、あなたをかならず用いてくださいます。

**いのり** 天のお父様、救いを待っている人に、イエス様を伝えたいです。わたしを用いてください。